

弾性ストッキング装着補助製品「アリオン社製 マグナイド」使用レポート

つま先なしの弾性ストッキングを使用されている方は装着の際、付属の簡易的なスライダーを使用されているかと思います。つま先ありの場合はこれが使用できませんので、着用の際に苦勞されている方も多いと思います。

今回はつま先ありのストッキングでも簡単に着用することができる「アリオン社製 マグナイド」を使用いただき、感想をお聞きしました。

。



マグナイドは滑りの良い素材にマグネットがついています



まずはこのように折り畳み、足を入れる袋状にしていきます



くっつけるマグネットに番号をふっておくと簡単です



マグナイドに足を入れて



その上にストッキングを履いていきます



踵を入れて、引き上げていきます



ひもを引っ張ると、中でマグネットが外れてマグナイドが出てきます



膝下まで履けました。この後もう片方も同様に履いていきます

*。

お試しいただいた方には、「今までストッキングを裏返して足を入れたら、少しずつ引き上げていってました。特に踵までが大変で、指や手首が痛くなります。高齢になったときに履けなくなるのでは？とよく心配になります。マグナイドは滑りが良く、いつも長い時間かけていることが1分で終わります」との感想をいただきました。

コンパクトにまとまるので、持ち運びにも便利です。

アリオン社の製品にはこれ以外にも、つま先なしのストッキング用、腕用、と揃っています。

MLAJ 製品レポート

商品名：アリオン マグナイド

形状：つま先あり装着専用モデル

つま先ありの場合に使用するモデルのマグナイドですが、装着時のつま先の様子が分かりやすいよう、つま先なしのストッキングで試してみました。



弾性着衣装着用のグローブがない素手でも簡単に足関節周囲まで引き上げることができます。



ストッキングを膝下あたりまで引き上げたら、マグナイドを引き抜く際に足趾を動かします。足趾の屈曲伸展を繰り返しながらマグナイドをゆっくり引き抜くとオレンジ色の生地が足底から足背に向けて移動しやすくなります。（ここで急いで引き抜こうとすると指先が押しえつけられて痛くなりました。）



オレンジ色の生地の下端が足趾のあたりまで移動してきたら、いっきに引き抜くことができます。膝下までストッキングを上げた状態で引き抜けるのは大変嬉しいです。

また次に使う時のために開いた状態のマグナイドを組み立てますが、順番を間違えて組み立ててしまうとうまく引き抜けなくなってしまうので注意が必要です。